

■ 2009年10月3日 株スクール in 千駄ヶ谷津田ホール

「投資ストラテジーと有望銘柄」

- 当資料は、情報提供を目的としており、特定の銘柄・商品の推奨や売買に関する断定的判断の提供を目的とするものではありません。
- お取引の際は、約款・規定集(<http://kabu.com/service/clauses.asp>)、契約締結前交付書面、投資信託説明書(交付目論見書)、お取扱商品の重要事項の説明(<http://kabu.com/company/policy/inducement.asp>)等を良くお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール(<http://kabu.com/service/rule.asp>)等を良くご理解の上、銘柄選択、投資時期、投資スタイル等、投資の最終決定はご自身のご判断とご責任で行って下さい。
- 証券投資は、価格の変動、金利の変動、為替の変動等により投資元本を割り込む恐れがあります。自動売買を含むすべてのご注文は、必ず約定するものではありません。
- 各商品等へのご投資には、各商品毎に所定の手数料等が必要です。手数料には消費税が含まれます。詳しくは当社の手数料ご案内ページ(<http://kabu.com/cost/>)等をご参照下さい。
- 投資信託の購入は、基準価額の変動により元本を割り込み損失を被ることがあります。ファンドにより販売手数料とは別に、信託報酬・解約手数料・その他手数料等を要するものがありますが、各ファンド別に要件・料率等が異なりますので表示できません。お取引に際しては、目論見書(商品毎)および目論見書補完書面(投資信託)をよくお読みください。
- 信用取引・指数先物取引・指数オプション取引は、保証金または証拠金以上のお取引が可能であるため、保証金または証拠金を超える大きな損失を被ることがあります。また、取引期限があり取引期限を越えてのお取引はできません。お取引の際はリスクに関する説明等をご覧いただき、商品特性やお取引ルール等をよくご理解の上、ご自身のご判断で無理のない資産運用を行って下さい。
- カバードワラントの価格は、オプションの対象とする有価証券等の価格変動の影響等により上下しますので、これより投資元本を割り込むことがあります。また、カバードワラントが外貨建ての場合や原資産の対象銘柄が外貨建ての場合には、為替変動リスクがあります。更に、カバードワラントの発行者やオプションの対象とする有価証券等の発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込むことがあります。オプションを行使できる期間には制限があります。また、カバードワラントの取引に係る税制上の取扱いについて、変更等されることがあり、その内容により利益又は不利益を被ることがありますのでご注意ください。詳細は、最新の外国証券内容説明書をご参照ください。お客様の購入価格と売却価格には価格差(売買スプレッド)があります。お取引に際しては「カバードワラント取引の契約締結前交付書面」をお読み下さい。
- 貸株サービスのご利用にはご契約が必要です。貸株サービスにお申しいただいた株式は、信用保証金／先物オプション証拠金／FX保証金への振替はできません。また、特定口座と一般口座間の振替はできません。発行会社から直接配当金は受け取れませんが、配当金相当額から源泉徴収税額を差し引いた金額を当社からお客さまの証券口座に入金します。分別管理や投資者保護基金の保護対象外となります。貸株サービスにお申しいただいた株数全てに応じられない場合もあります。契約条件・契約方法・最新の貸株利率については当社ホームページ(<http://kabu.com/>)にてご確認ください。
- kabu.comPTSは、証券取引所とは異なるため、一般的に流動性が低く値動きが大きくなる可能性がありますので、お取引の際は注文状況をご確認の上でご注文下さい。
- 外国為替保証金取引(FX)は、取引金額がお客さまが預託しなければならない保証金の額に比べて大きい額となっており、投資額以上の損失が生じる可能性があります。また、外国為替保証金取引は元本や利益を保証するものではなく、為替変動リスクや金利変動等のリスクを伴います。本取引において当社が提示する売値と買値の間には差額があります。お取引に際しては、外国為替保証金取引の契約締結前交付書面をよくお読みください。保証金(1万通貨):コース、通貨ペアにより25,000円～1,000,000円／手数料:2銭(1万通貨当り200円)
- 掲載情報は**2009年9月28日現在**のもので、詳細および最新情報は当社ホームページ(<http://kabu.com/>)にてご確認ください。
- ◆ご投資にかかる手数料等およびリスクについてはこちら
→ <http://kabu.com/info/escapeclause.asp>

カブドットコム証券株式会社

金融商品取引業者登録: 関東財務局長(金商)第61号

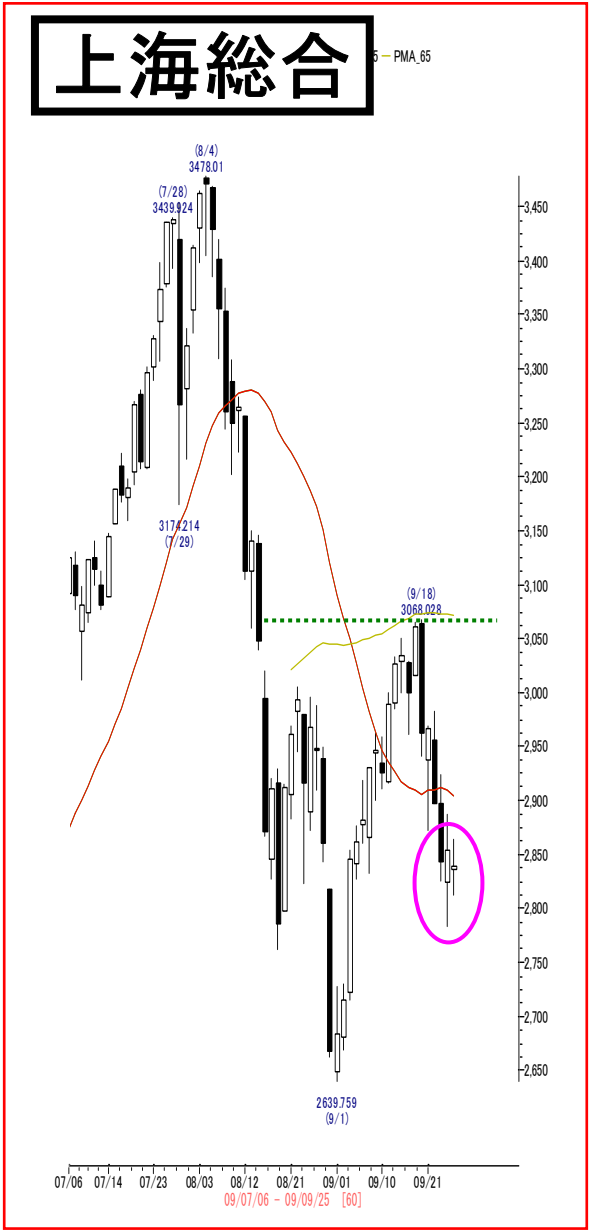
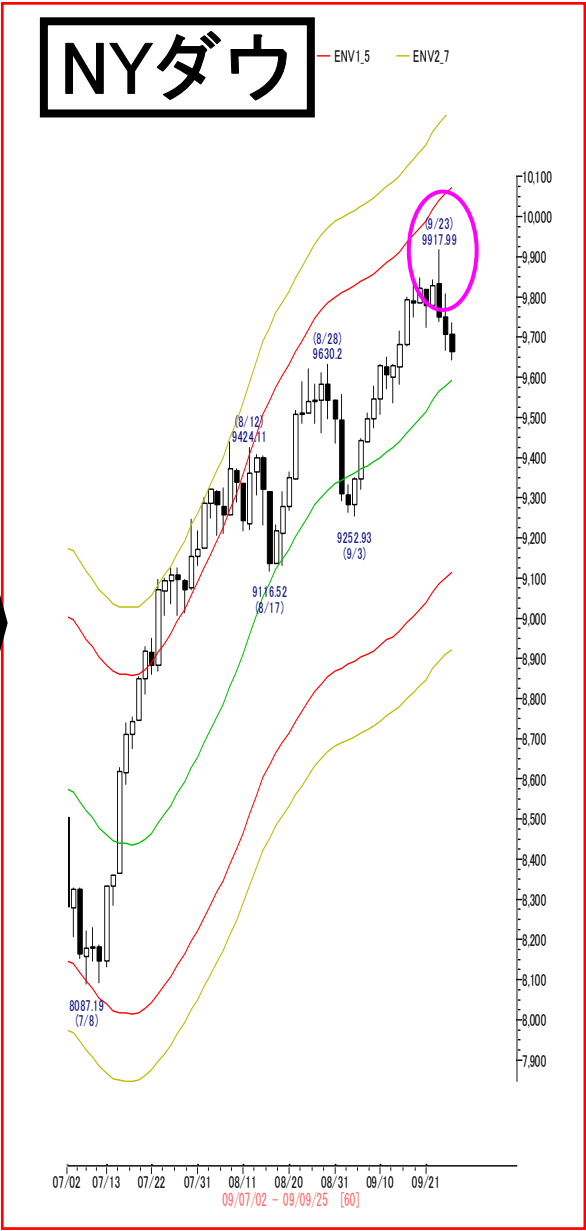
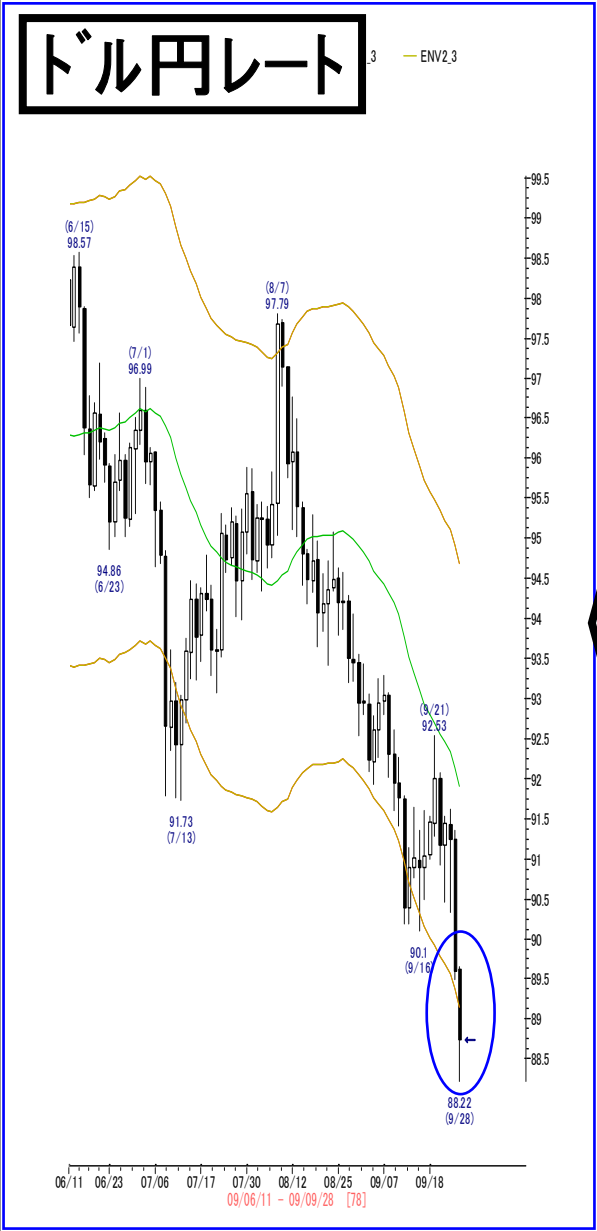
銀行代理業許可: 関東財務局長(銀代)第8号

加入協会: 日本証券業協会、金融先物取引業協会

当資料の情報は、カブドットコム証券のホームページ上の情報と同様、東京証券取引所、大阪証券取引所、ジャスダック証券取引所、株式会社QUICK、東洋経済新報社、日本経済新聞社、トムソン・ロイター社、モーニングスター社、クオンツ・リサーチ社、株式会社フィスコ、FXプライム株式会社、ジャパンエコノミックパルス社からの情報提供をもとに公開しております。当資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。ここに示したすべての内容は、現時点での判断を示しているに過ぎません。当資料を営業に利用することはもちろん、第三者へ提供する目的で情報を加工、再利用及び再配信することを固く禁じます。当資料の情報内容につきましては万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。当資料の利用に際してはお客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。

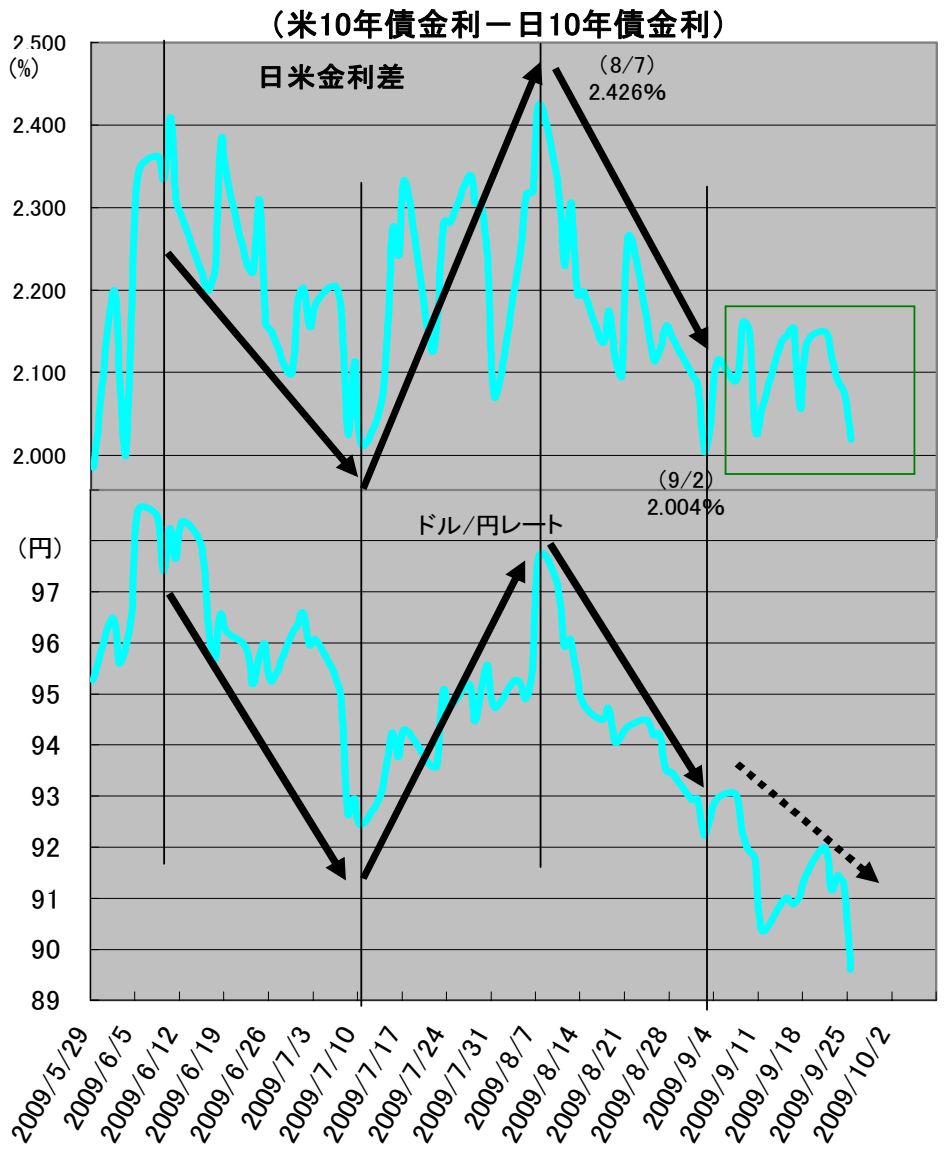
■直近の外部環境

円高
 ↓
 日本株
 ↑
 米国株高
 アジア株高



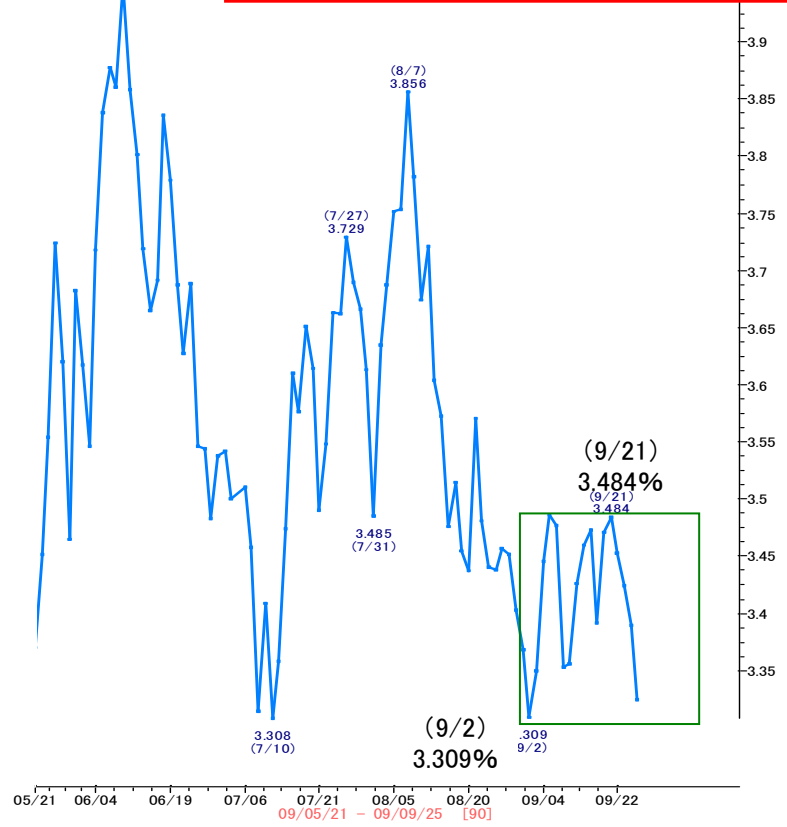
● 為替市場の動向

日米金利差は底打ち、米国債金利不安定へ



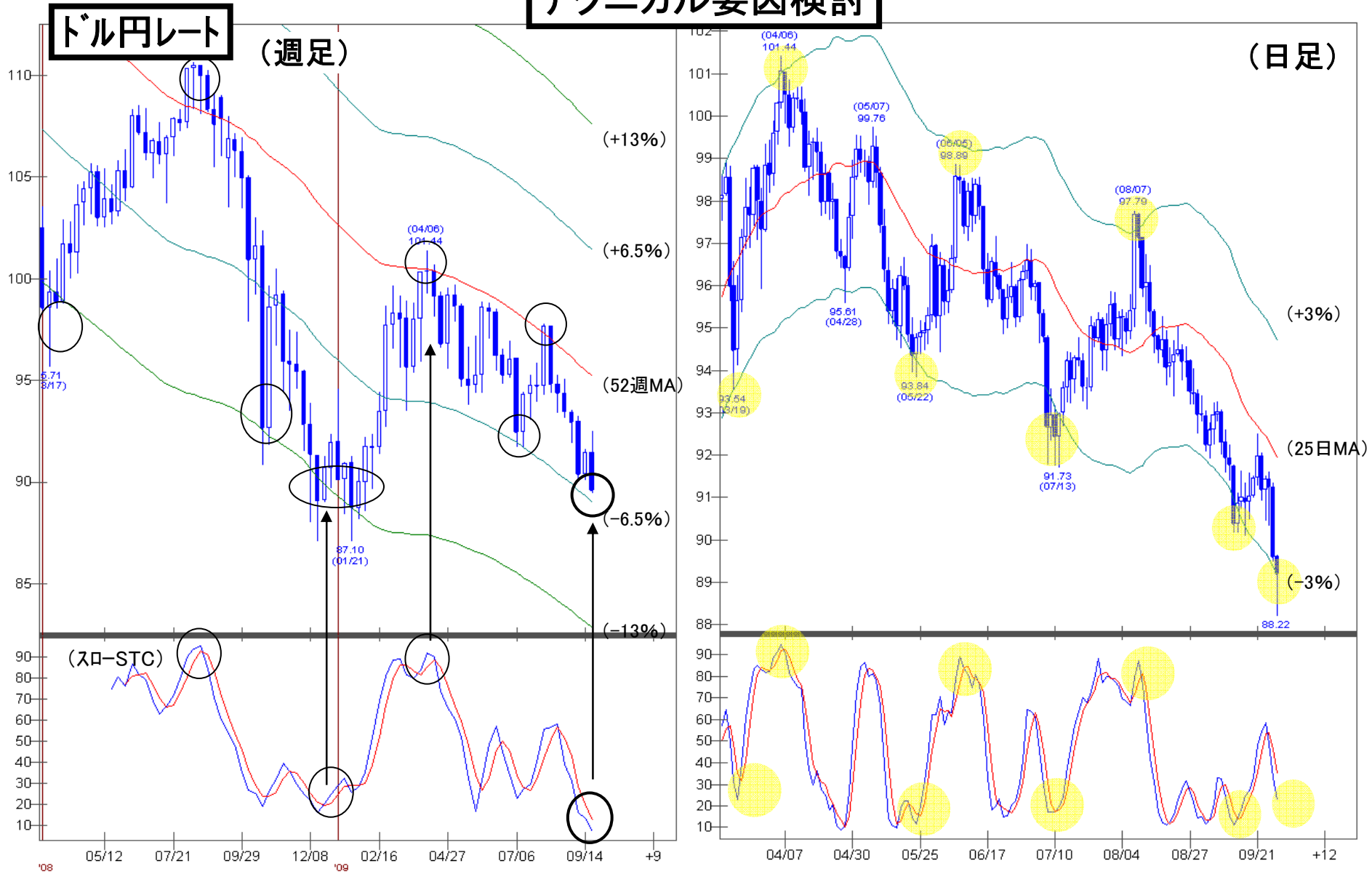
米国債金利 (10年物)

- <米金利不安定要素>
- ・国債買取りの期限延長
 - ・低金利政策の継続
 - ・国債大量発行(需給不安定)
 - ・9/11 中国製タイヤへのセーフガード発動 → 中国の米債売り懸念



● 為替市場の動向

テクニカル要因検討



■直近2年の足取りと背景



■危機からの生還

〔危機からの生還〕

- ・金融システムの完全回復
(米金融機関19行の資産査定→資本増強
→注入公的資金の返済→利益回復→再発防止規制?)
- ・巨大産業のリセット (現在ココ)
(クライスラー、米国籍からイタリア籍で再生)
(GM破綻と国家管理下での早期再生)
- ・景気回復への自信 ~底入れから回復へ
(在庫・生産調整→生産再開→利益回復→雇用+消費復活・設備投資)
(現在ココ)

<戦後処理>

- 金融システム規制の再強化(ガイトナー^{財務長官} & サマース^{国家経済会議委員長})
~9/5 G20自己資本規制の強化で合意か、さらに報酬制限等も
- 出口戦略(財政出動の財源: 国債増発: 悪い金利上昇、金利通常化)

■ 初調整局面の要因整理

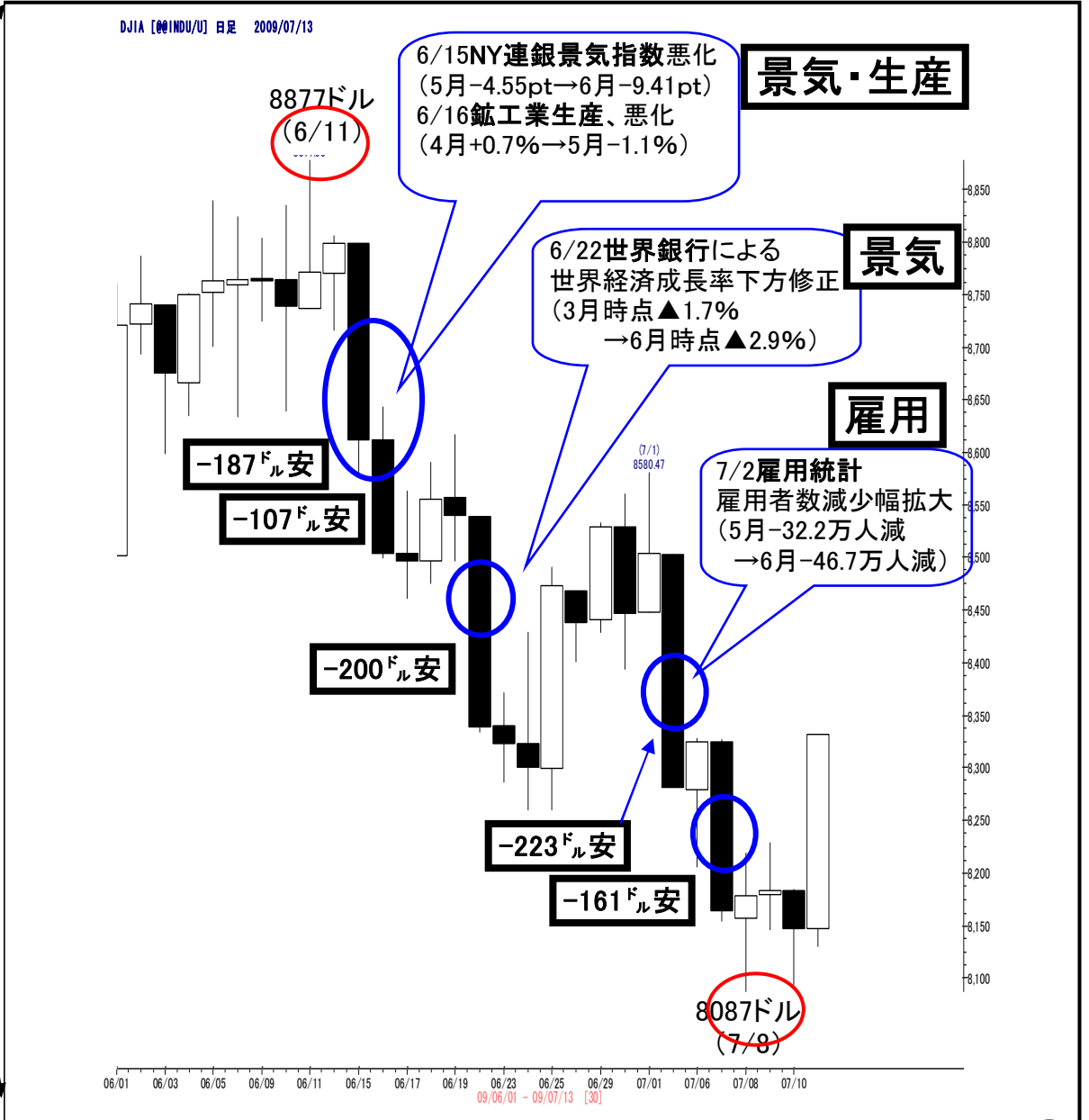
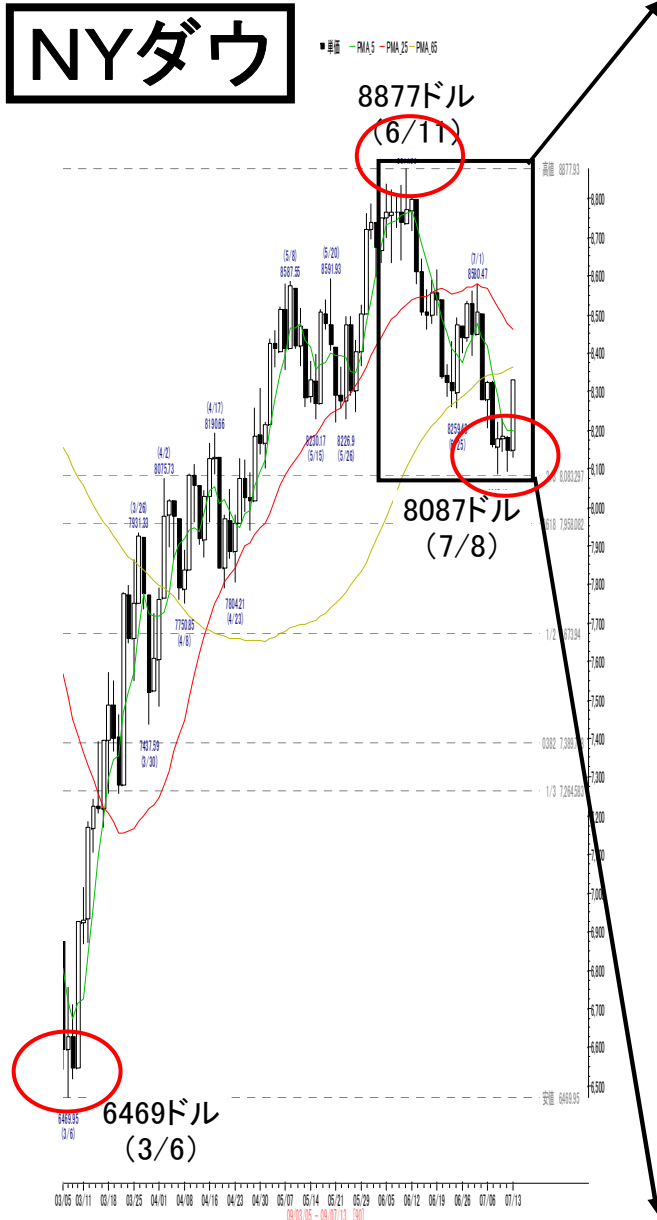


1カ月の調整は何だったのか？

米政府・FRBによる悲観トーク
7月初・9月初

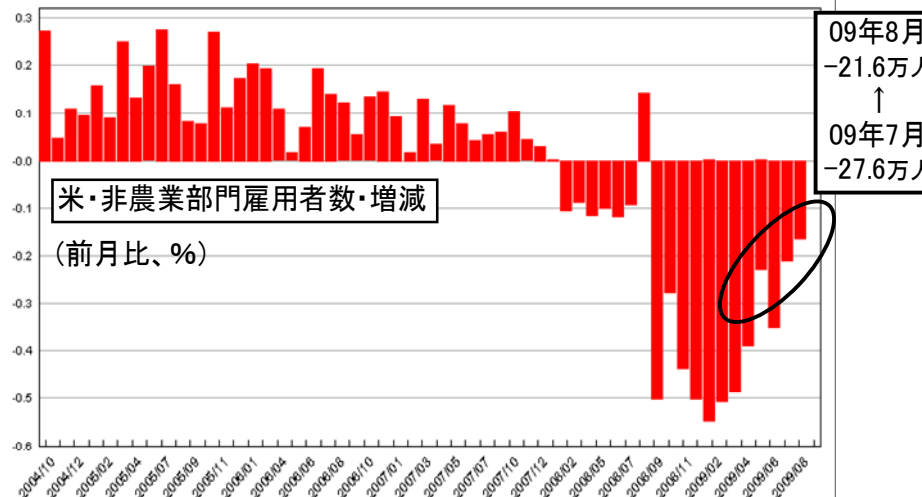
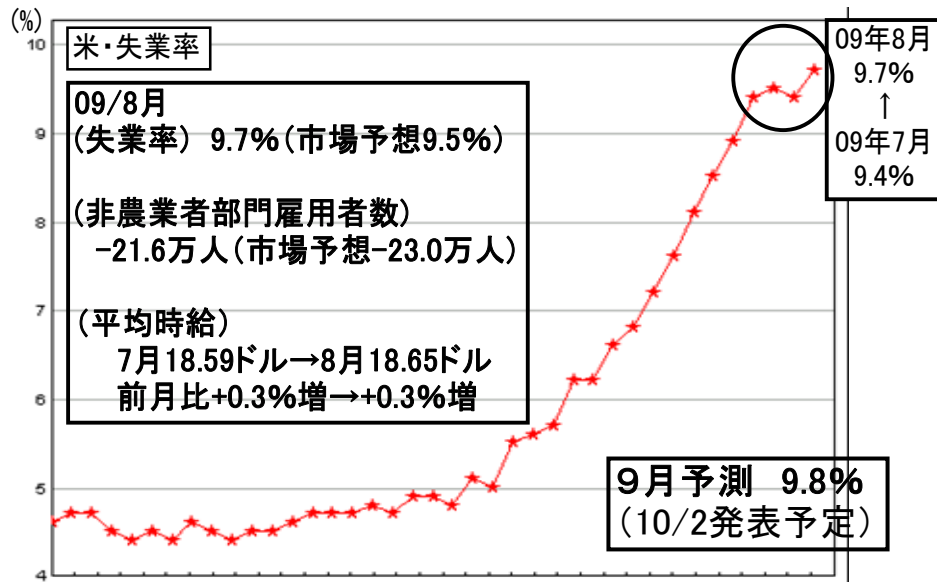
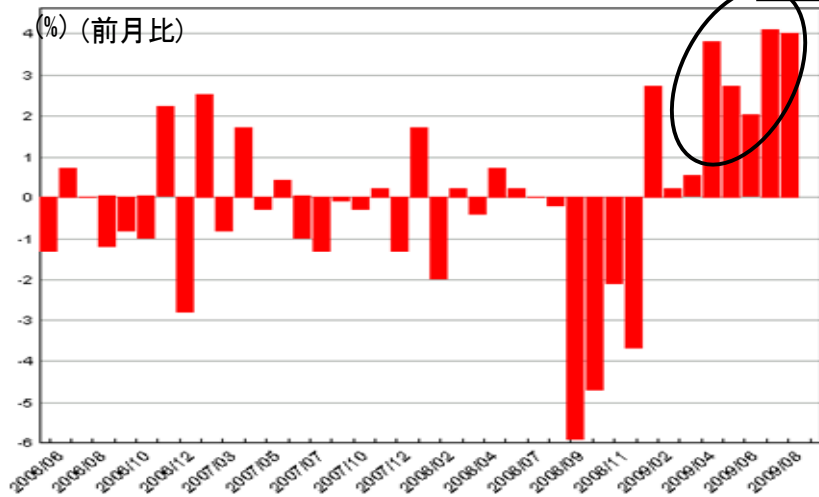
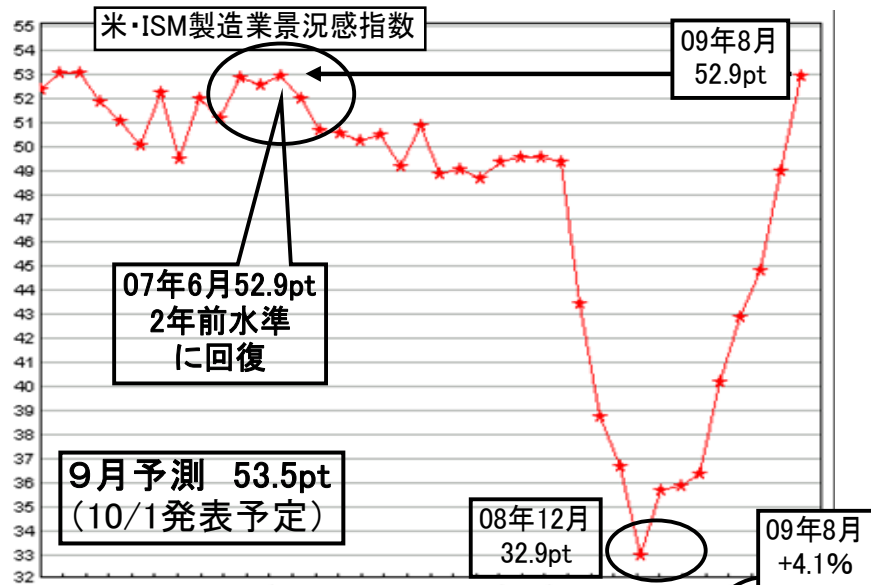


米国債入札
4月1010億ドル
5月1010億ドル
6月1040億ドル
7月1150億ドル
8月1090億ドル
9月1120億ドル



●米国景気
景気と雇用

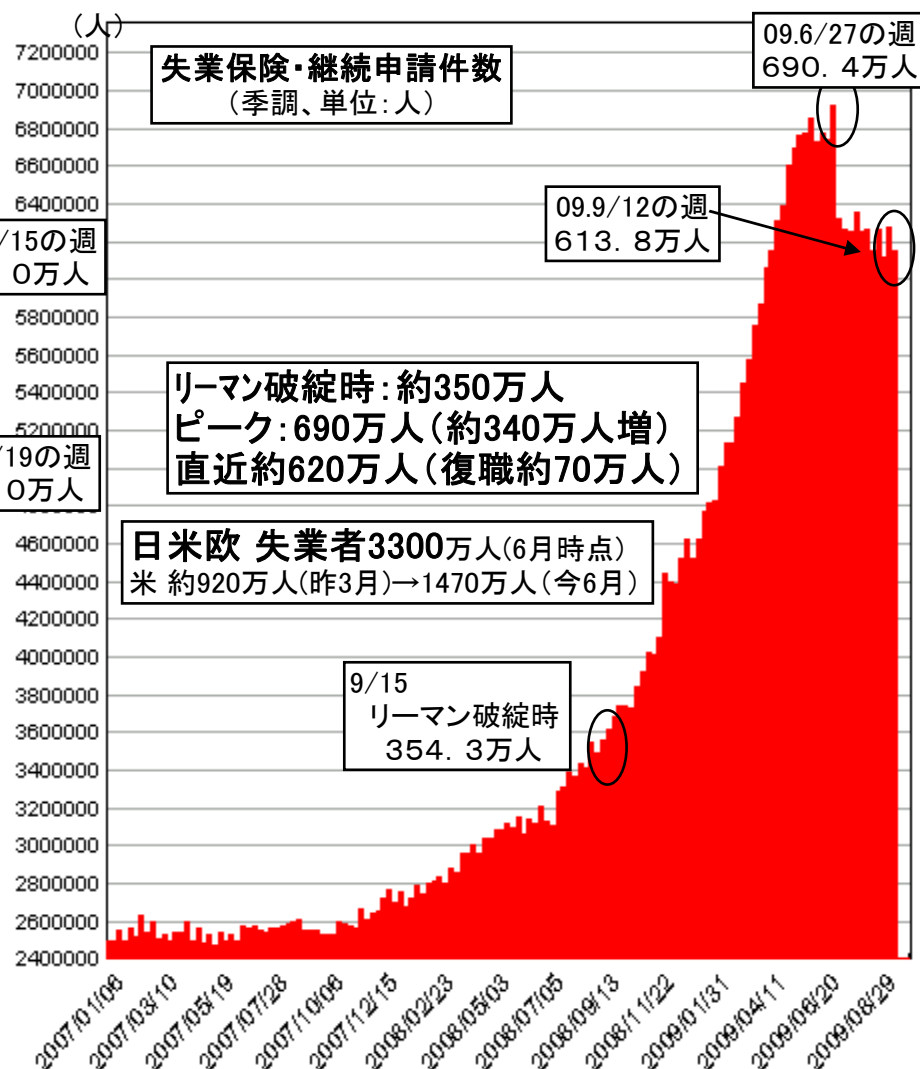
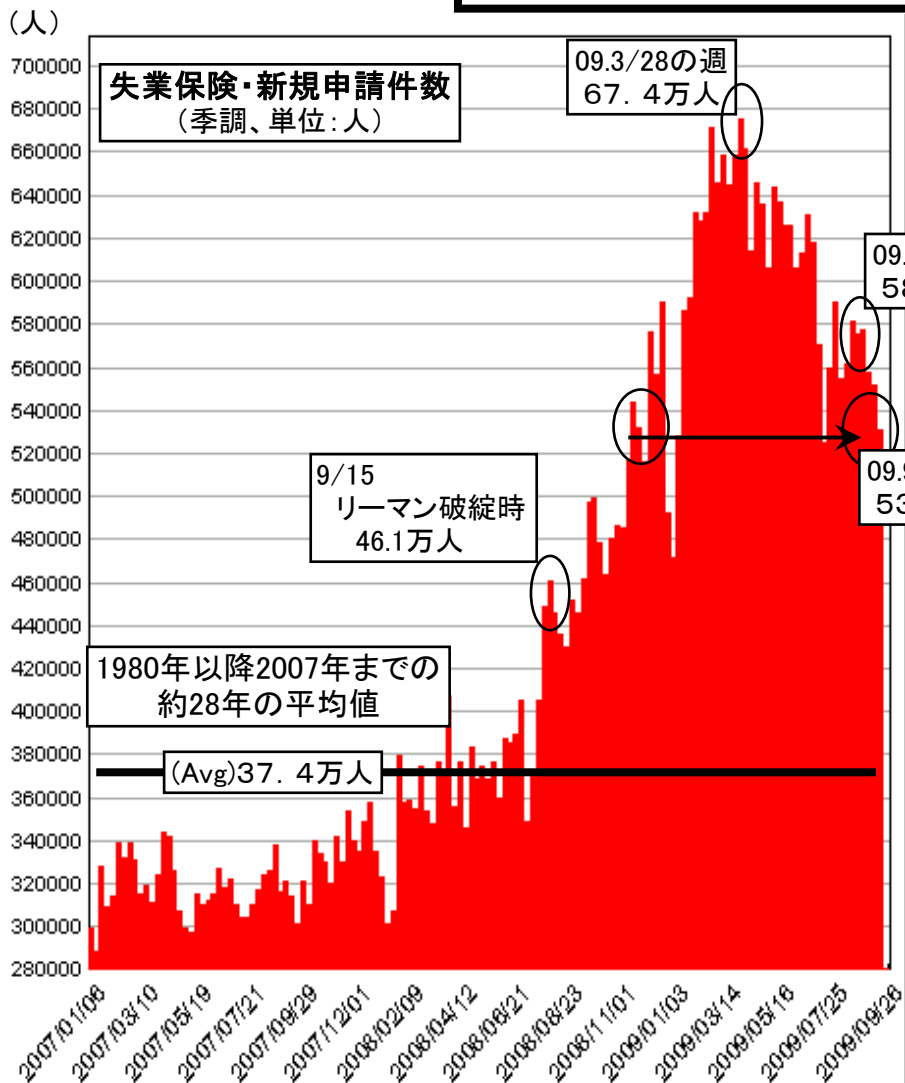
米・ISM景気指数と雇用統計 ～生産回復示す、雇用・消費への点火をチェック～



(注) 米・供給管理協会(ISM)、労働省データよりkabu.com投資情報室作成。

● 米国
労働市場

失業保険 ～米企業本格リストラ開始近辺にまで低下～



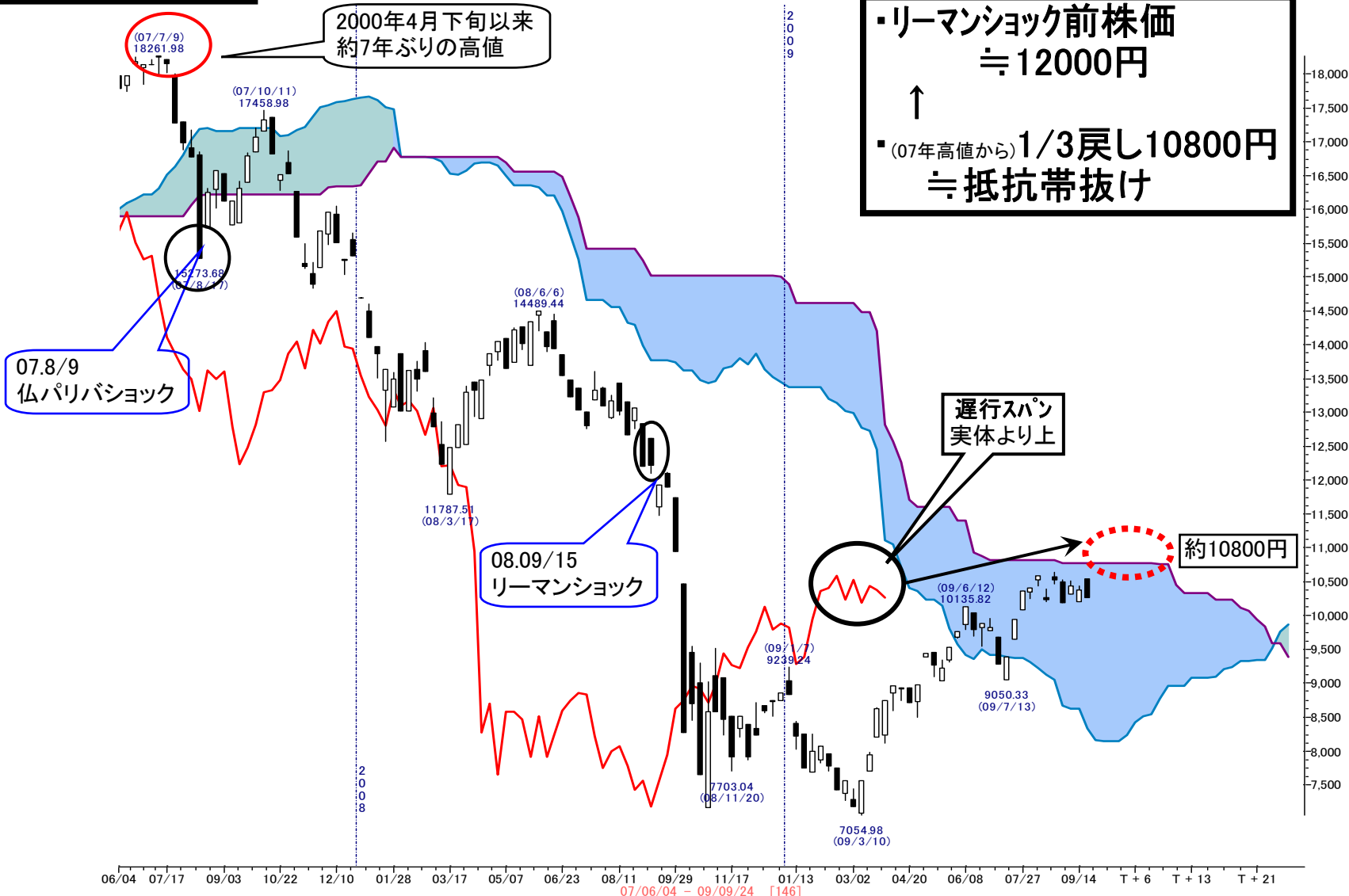
出所：米労働省よりkabu.com投資情報室作成

■直近2年の足取り

日経平均

週足 2009/09/28

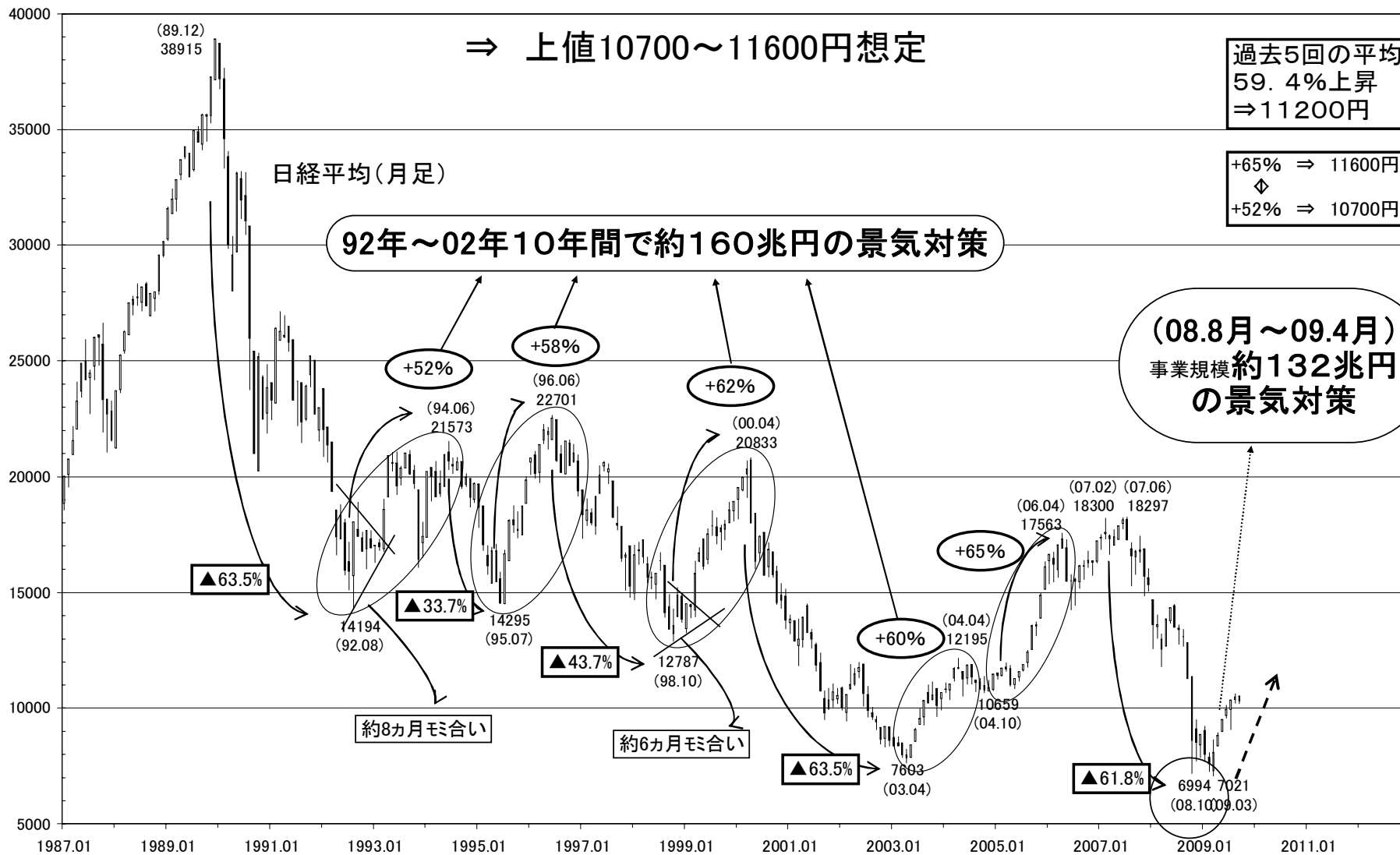
— 先行スパンA — 先行スパンB — 遅行スパン ■ 単価



●長期波動
の日経平均
戻り局面

大底からの中勢反発は約6割を示現

⇒ 上値10700~11600円想定

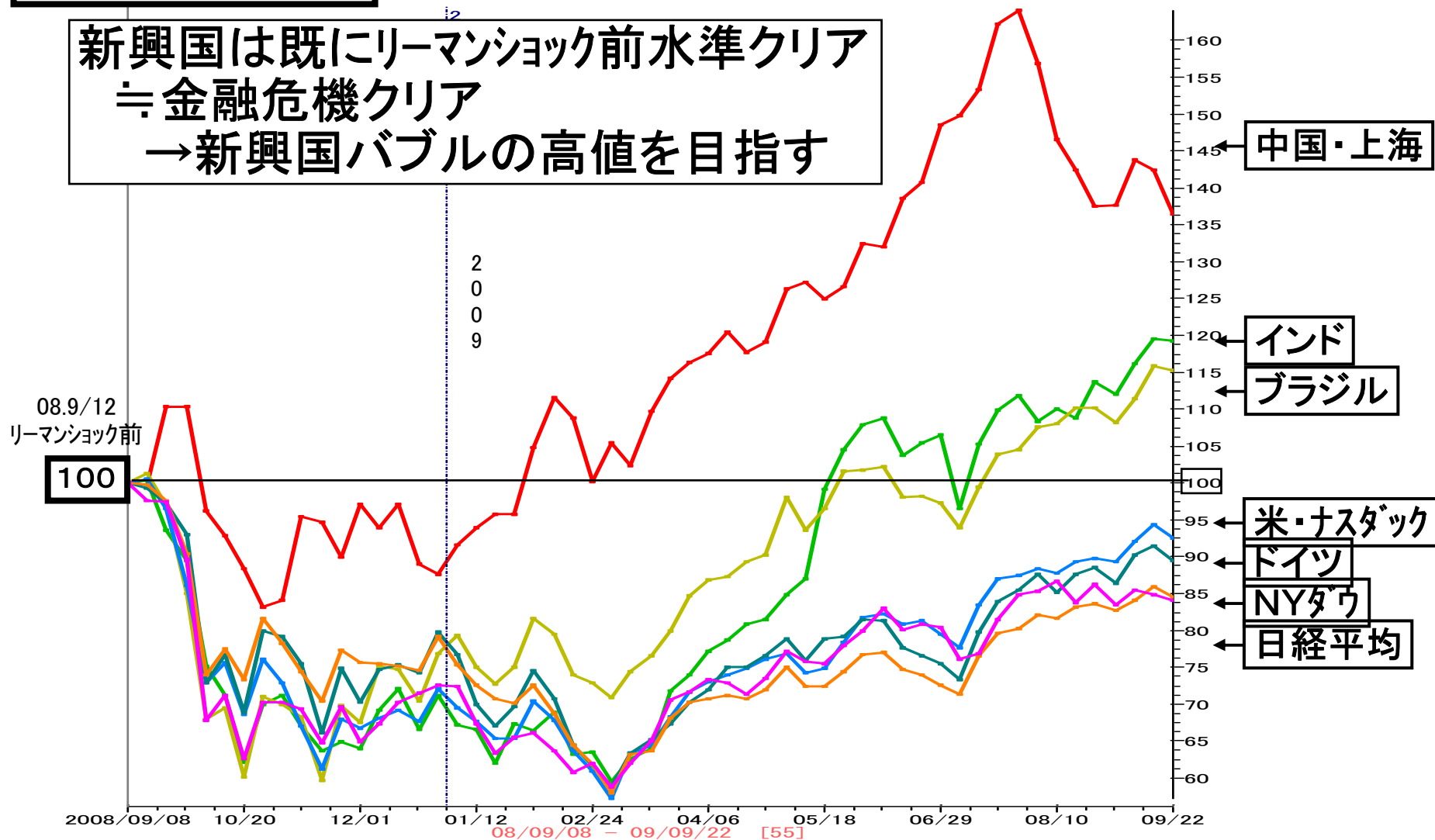


■ 世界株価

世界主要株価
(指数化チャート 週足)

08年9/12=100

新興国は既にリーマンショック前水準クリア
≡ 金融危機クリア
→ 新興国バブルの高値を目指す



●各主要国の景気底入れイメージ

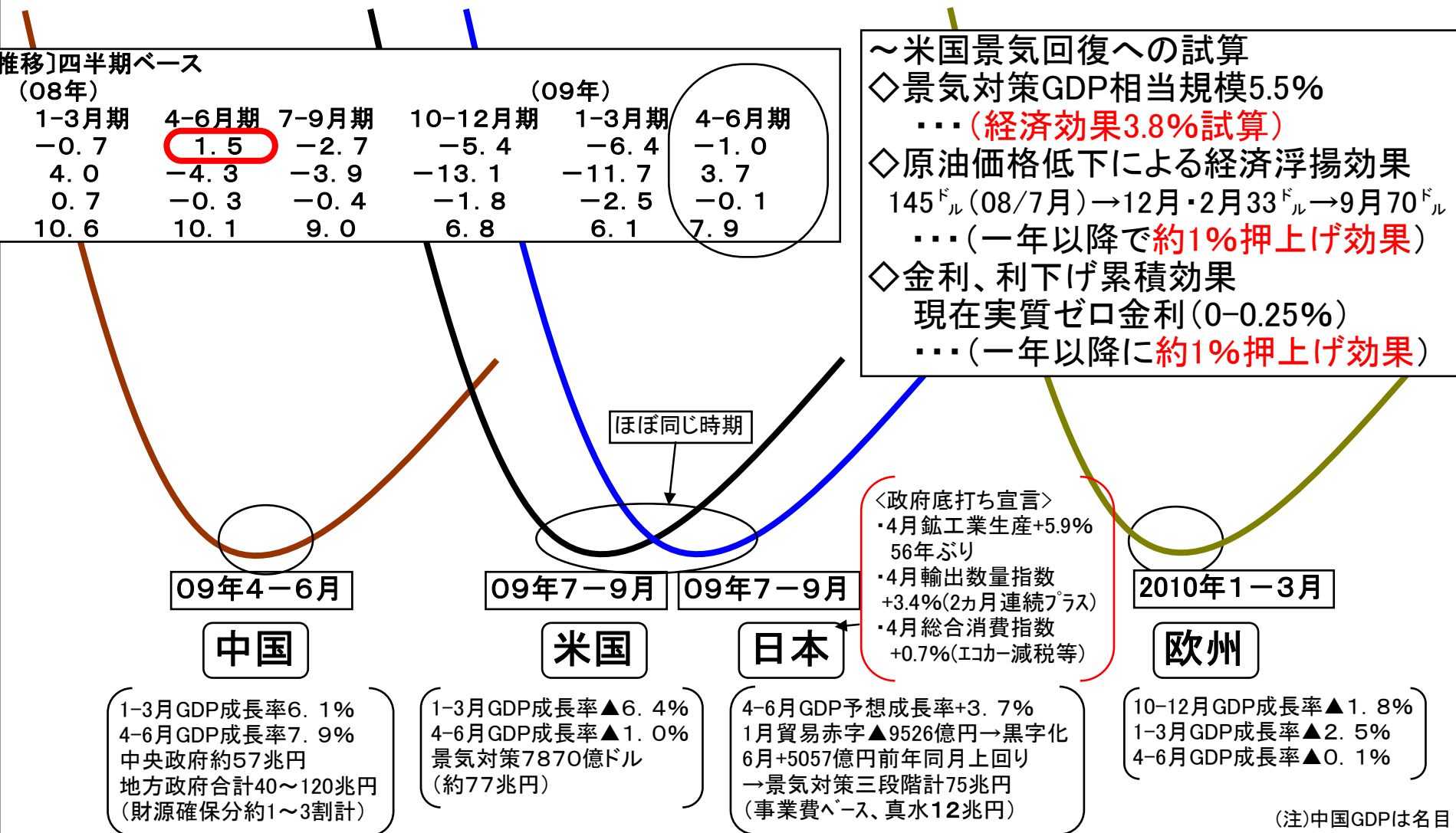
主要国の景気底入れ時期のイメージ
(最も楽観的なシナリオケース)

[各国GDP推移]四半期ベース

	(08年)				(09年)	
	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期
米国	-0.7	1.5	-2.7	-5.4	-6.4	-1.0
日本	4.0	-4.3	-3.9	-13.1	-11.7	3.7
ユーロ圏	0.7	-0.3	-0.4	-1.8	-2.5	-0.1
中国	10.6	10.1	9.0	6.8	6.1	7.9

～米国景気回復への試算

- ◇景気対策GDP相当規模5.5%
... (経済効果3.8%試算)
- ◇原油価格低下による経済浮揚効果
145ドル(08/7月)→12月・2月33ドル→9月70ドル
... (一年以降で約1%押し上げ効果)
- ◇金利、利下げ累積効果
現在実質ゼロ金利(0-0.25%)
... (一年以降に約1%押し上げ効果)



09年4-6月

中国

1-3月GDP成長率6.1%
4-6月GDP成長率7.9%
中央政府約57兆円
地方政府合計40~120兆円
(財源確保分約1~3割計)

09年7-9月

米国

1-3月GDP成長率▲6.4%
4-6月GDP成長率▲1.0%
景気対策7870億ドル
(約77兆円)

09年7-9月

日本

4-6月GDP予想成長率+3.7%
1月貿易赤字▲9526億円→黒字化
6月+5057億円前年同月上回り
→景気対策三段階計75兆円
(事業費ベース、真水12兆円)

2010年1-3月

欧州

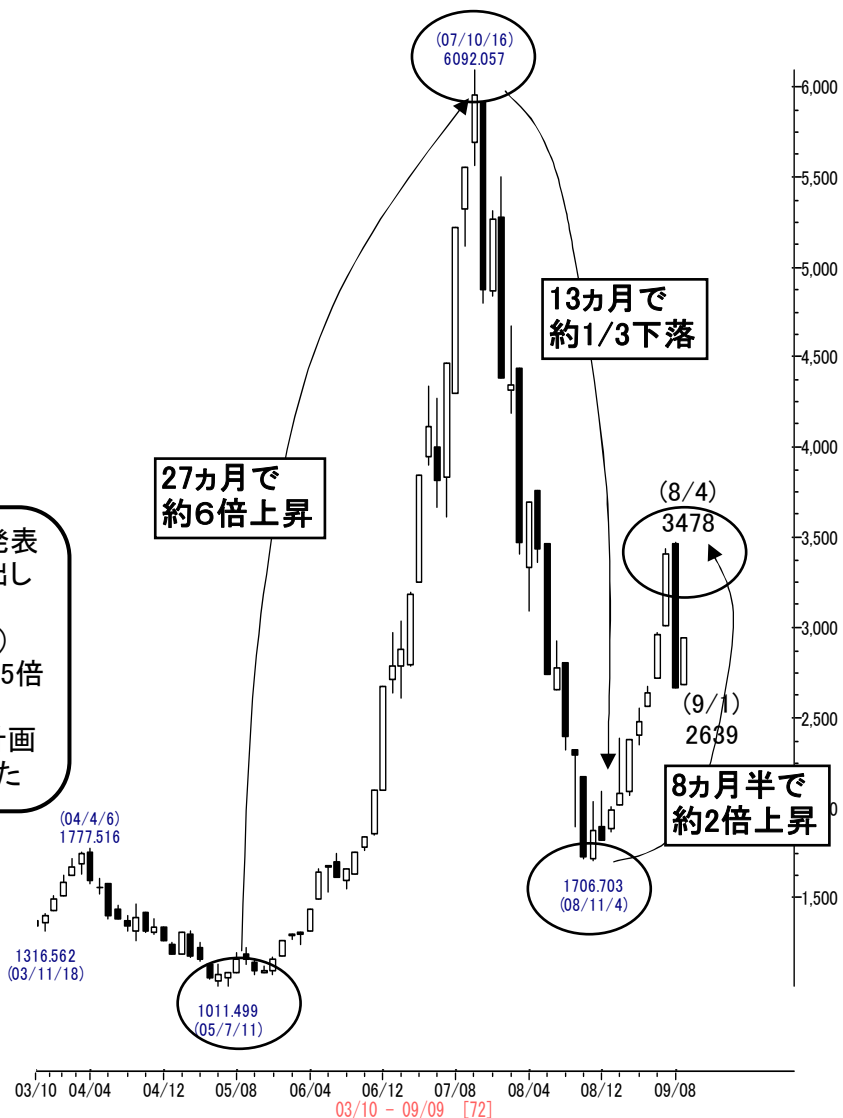
10-12月GDP成長率▲1.8%
1-3月GDP成長率▲2.5%
4-6月GDP成長率▲0.1%

<政府底打ち宣言>
・4月鉱工業生産+5.9%
56年ぶり
・4月輸出数量指数+3.4%(2カ月連続プラス)
・4月総合消費指数+0.7%(エコ減税等)

(注)中国GDPは名目

●中国景気回復と株価

中国・上海総合指数(月足) 単価



※中国人民銀行発表
中国民間銀行貸出し
6月1.5億元
↑ (約20.8兆円)
↑ 前年同月の約5倍
↑
*6月段階で09年計画
の約47%上回った

[中国の景気対策・産業振興策]
～昨年11月策定、「保八」に向けた最も早い政策決定

- ・中央政府 4兆元(約57兆円)
- ・地方政府 計約29兆元(約400兆円)
→財源確保分はそのうち約1～3割と試算されている(約40～120兆円)
中央・地方合計97～177兆円

- ・10大産業振興計画
～120項目、3月から次々と公布。
(日程表では政策措置実施に1年ほど、計画の76項目の任務完了に3年程)

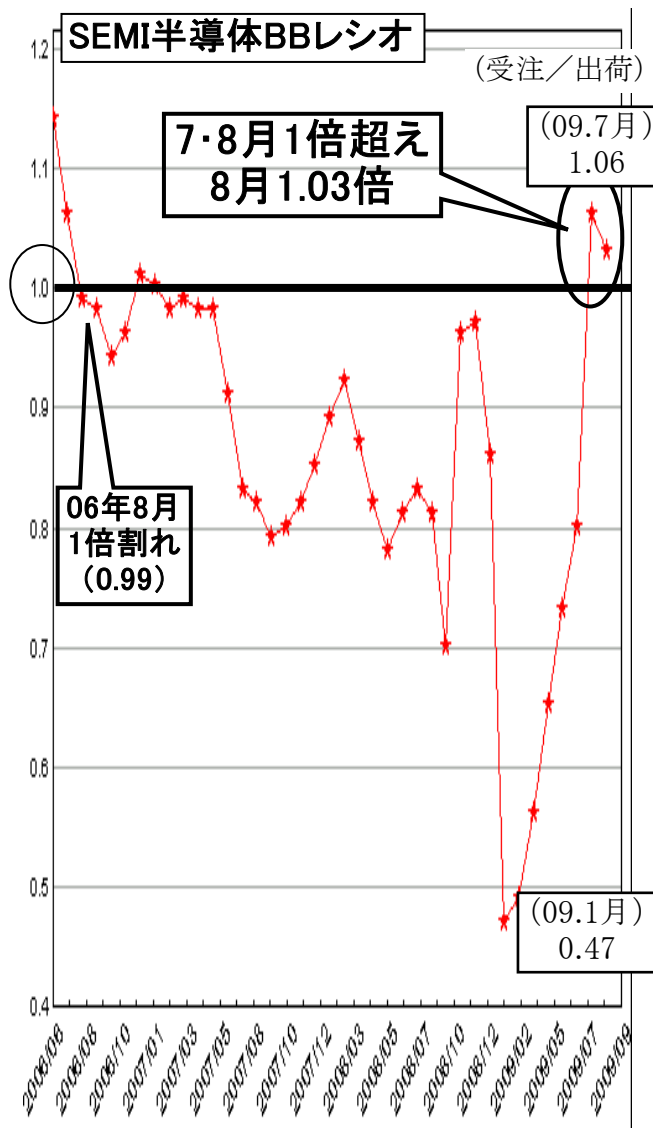
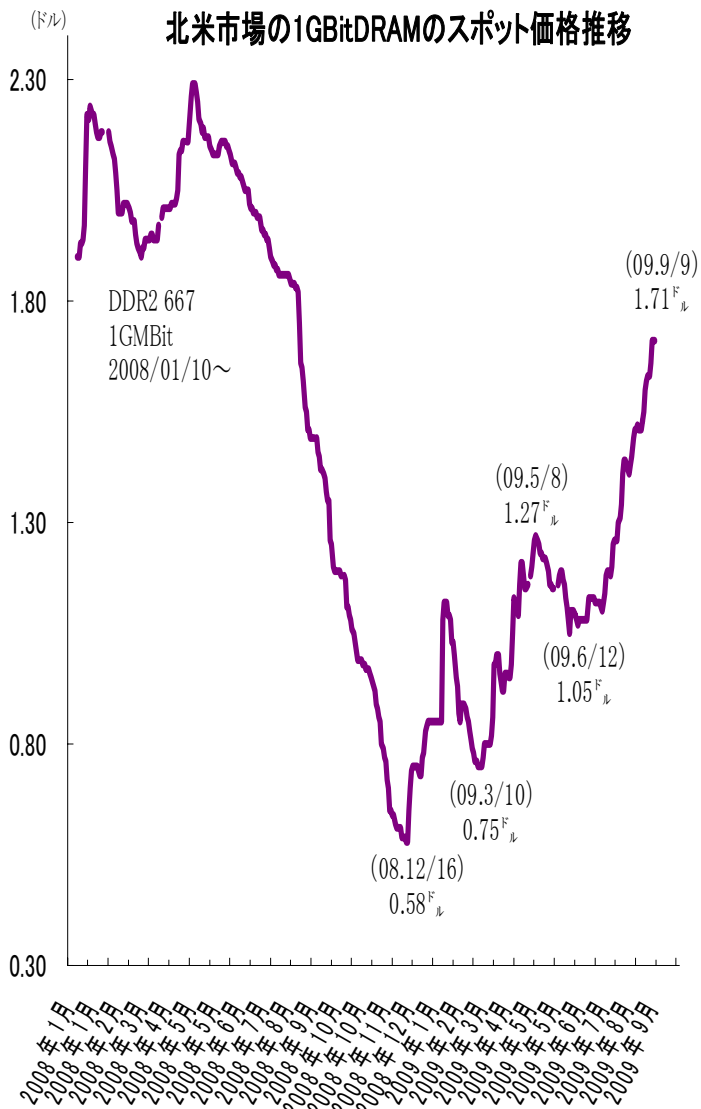
+追加景気対策示唆(内需消費刺激策など)
経済成長率8%達成へ財政赤字拡大も辞さぬ考え。
また追加刺激策発動が必要となる場合は、今年度財政赤字抑制目標(GDPの3%以下)にこだわらない方針

◆ 産業景気 と物色

電子部品・
半導体関連
は好調持続

エコカーや
環境対応
への代替は
半導体・
電子部品の
需要拡大
に繋がる

↓
ex)インテルの
7月・8月
連続収益
上方修正



- 〔半導体製造装置〕
東エレク(8035)、アドテスト(6857)
東京精密(7729)、ディスコ(6146)、
TOWA(6315)、芝浦メカ(6590)、
三井ハイテック(6966)、新電工(6967)
大日本スクリーン(7735)、
- 〔メモリ〕
エルピーダ(6665)、トマンデバイス(2737)
- 〔素材系〕
JSR(4185)、東京応化(4186)、
住友ベーク(4203)

- 〈225採用の好業績電気機器〉
(今期経常益予想)
- | | |
|--------------|--------|
| 1. 6702 富士通 | 298.6% |
| 2. 7752 リコー | 77.8% |
| 3. 6991 パナ電工 | 2.3% |
| 4. 6971 京セラ | 1.8% |
| 5. 6952 カシオ | 黒転 |
| 6. 6764 三洋電 | 黒転 |
| 7. 6701 NEC | 黒転 |
| 8. 6502 東芝 | 黒転 |
| 9. 6753 シャープ | 黒転 |

(出所) DRAMスポット価格はDRAMExchange.comより、BBLレシオはSEMI国際半導体製造装置材料協会データより、kabu.com投資情報室作成。

◆円高下の
銘柄ポイント

〔想定為替レートと内需関連〕

・ 想定為替レート

90円 リコー、日立、NEC

91円 ホンダ

92円 トヨタ、京セラ、三菱自 など

93円 ソニー、富士電HD

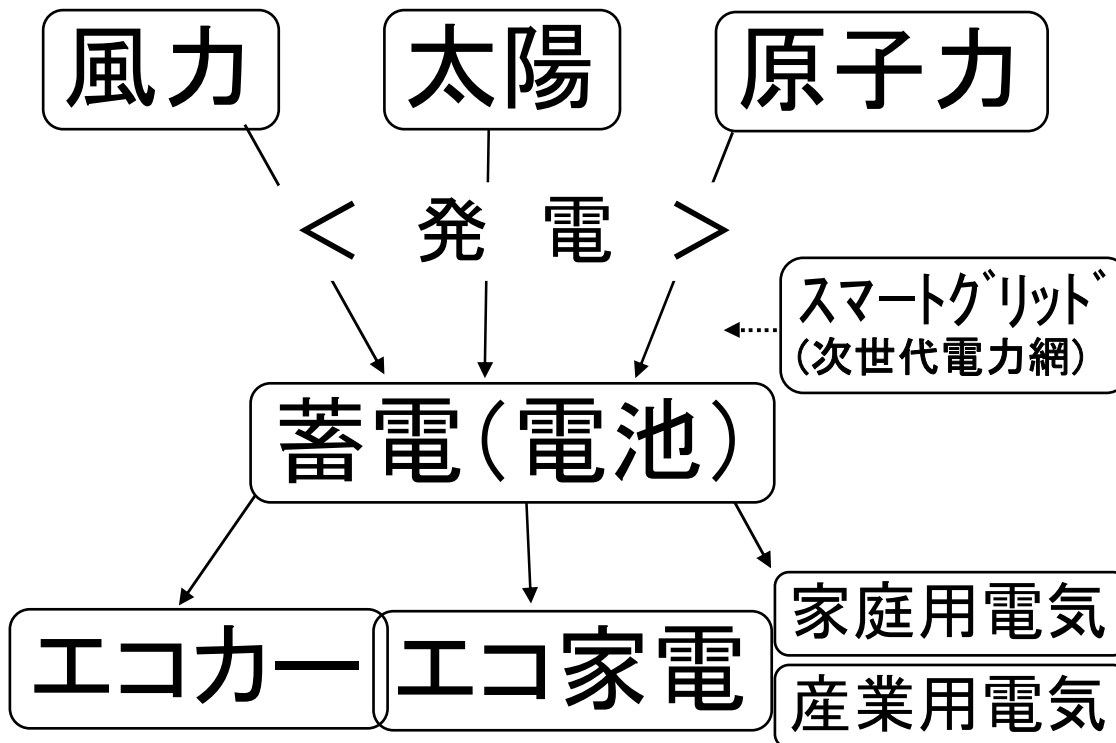
95円 テンソー、コマツ、東芝、富士通、
日電産、シャープ、日産自

96円 パナソニック

・ ドル安-円高 → 内需関連へのシフト
セコム、テルモ、ユニチャーム、日清粉G、ファーストリ など

◆環境関連
銘柄の整理

“エネルギーの発生で整理すると・・・”

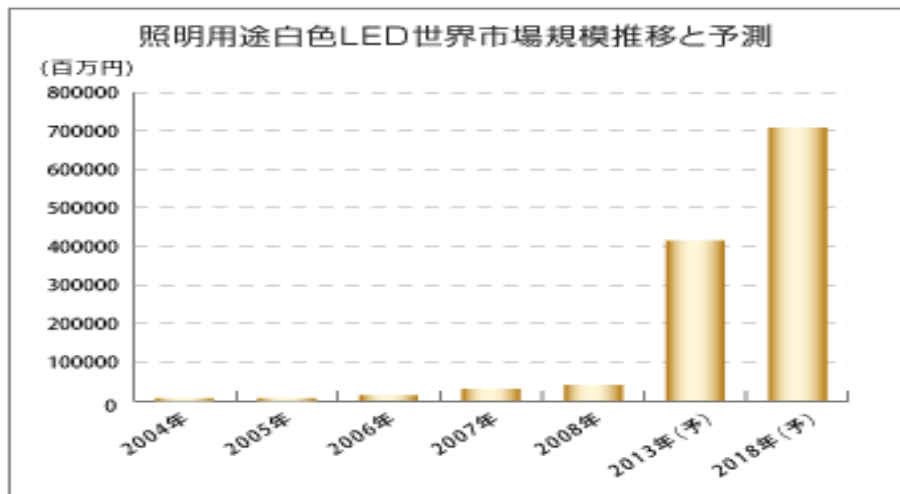


(エコカー向け電池の進化ロードマップ)
 ニッケル水素→リチウムイオン電池→燃料電池
 (大規模蓄電向け・風力発電など)
NAS電池

- <関連銘柄>
- (風力発電)
日本風力開発、三菱重、富士重、日本製鋼
東レ、エヌ・ピー・シー、NTN、日本精工、ジェイテクト
 - (太陽光発電)
シャープ、東芝、TDK、京セラ、太陽誘電、
明電舎、アルバック、フェローテック、東エレクト
SUMCO、トクヤマ、三菱マテリアル
 - (原子力発電)
日本製鋼、東芝、三菱重、日立、三菱電、
IHI、トーヨーカネツ、木村化工、日立造
 - (電池)
GSユアサ、東芝、パナソニック、NECトキン
明電舎、フェローテック、ステラケミファ、
CKD、三社電機、ガイシ、戸田工
 - (エコカー)
トヨタ、ホンダ、日産自、三菱自、富士重
デンソー、富士電
 - (エコ家電)
パナソニック、日立、三菱電、ダイキン、
ヤマダ電機、ケーズHD
 - (スマートグリッド)
住友電工、古河電工、フジクラ、富士電、
大崎電気、西芝電機、高岳製作、ダイヘン
 - (ETF)
グリーンチップ35ETF(東証、1347)

◆ 拡がりを
みせる
環境テーマ

“環境テーマとしての白色LED関連”



【注】メーカー出荷金額ベース

(矢野経済研究所推計)

〔白色LED拡大のポイント〕

- ・白色LEDの技術が進み、脚光！
→ 蛍光灯とほぼ同じレベルの発光へ
- ・省エネルギー、高寿命
→ 環境配慮の社会的側面
- ・利用用途の拡がり。
景観・店舗など商業施設→オフィス・住宅へ

▪(参考) 【LED照明推進協議会(JLEDS)参画企業124社】

〔白色LED照明関連銘柄〕

(照明機器)

パナソニック、東芝、シャープ

(製造装置、デバイス部品 など)

京セラ、ローム、スタル電、小糸製
シチズンHD、ディスコ、新川

(素材系など)

信越化、三菱ケミHD、昭電工
電化、日化薬

◆セクターアナリスト好みの銘柄は？

“16年ぶりの政権交代で銘柄ランキングに変化

株価レーティング月間 上昇幅ランキング(月末集計)

0908月末時点--QUICKコンセンサス調べ

※採用社数が、5社以上の銘柄のみランキングの対象。

順位	コード	銘柄名	変化幅	8月末	7月末
1	6902	デンソー	0.76	1.00	0.24
2	5016	新日鉱HD	0.75	1.00	0.25
3	4849	エンJPN	0.71	0.00	-0.71
4	5407	日新鋼	0.67	0.67	0.00
5	6472	NTN	0.64	-0.11	-0.75
6	9064	ヤマトHD	0.57	1.14	0.57
7	7205	日野自	0.50	0.25	-0.25
8	3404	三菱レ	0.49	-0.09	-0.58
9	7203	トヨタ	0.46	1.05	0.59
10	8035	東エレ	0.45	0.63	0.18
11	7202	いすゞ	0.44	0.33	-0.11
12	8411	みずほ	0.42	0.75	0.33
13	6273	SMC	0.41	0.58	0.17
13	8113	ユニチャーム	0.41	1.50	1.09
15	6471	日精工	0.40	0.60	0.20
15	6723	NECエレ	0.40	-0.60	-1.00
15	7013	IHI	0.40	1.00	0.60
15	9076	セイノーHD	0.40	0.00	-0.40
15	9533	邦ガス	0.40	0.40	0.00
20	8403	住友信	0.38	1.18	0.80
21	2212	山崎パン	0.37	1.00	0.63
21	5334	特殊陶	0.37	-0.27	-0.64
21	5706	三井金	0.37	-0.36	-0.73
24	5714	DOWA	0.36	0.09	-0.27
24	6481	THK	0.36	-0.21	-0.57
24	6770	アルプス	0.36	-0.57	-0.93
24	7240	NOK	0.36	0.56	0.20
28	6305	日立建	0.35	0.29	-0.06
28	9202	ANA	0.35	-0.57	-0.92
30	8282	ケースHD	0.34	1.67	1.33

「買い」上位の株価レーティングランキング(月末集計)

0908月末時点--QUICKコンセンサス調べ

※採用社数が、5社以上の銘柄のみランキングの対象。

順位	コード	銘柄名	レーティング	社数
1	4282	EPS	1.83	6
2	9020	JR東日本	1.79	14
3	4088	エア・ウォーター	1.71	7
3	4813	ACCESS	1.71	7
5	4817	JCOM	1.69	13
6	8282	ケースHD	1.67	6
6	8410	セブン銀行	1.67	6
6	8933	NTT都市	1.67	9
9	2685	ポイント	1.64	11
10	3395	サンマルクHD	1.60	5
10	4540	ツムラ	1.60	5
10	5911	横河ブHD	1.60	5
10	9005	東急	1.60	5
14	7915	日写印	1.56	9
15	2767	フィールズ	1.50	6
15	3632	グリー	1.50	6
15	8113	ユニチャーム	1.50	12
18	9843	ニトリ	1.45	11
19	2440	ぐるなび	1.43	7
19	2670	ABC マート	1.43	7
21	2875	東洋水産	1.40	10
21	3770	ザッパラス	1.40	5
21	5947	リンナイ	1.40	5
21	7956	ピジョン	1.40	5
21	9364	上組	1.40	5
26	2914	J T	1.38	13
27	4507	塩野義	1.35	17
28	1963	日揮	1.33	12
28	4021	日産化	1.33	6
30	2413	エムスリー	1.29	7